

技術者育成を推進

日測協沖縄支部報告会

(公社)日本測量協会沖縄支部(松川竹丸支部長)は7月15日、那覇市の県青年会館で業務報告会を開き、2026年度事業計画な

どを報告した。

松川支部長は、測量業界で技術者不足や高齢化が進む一方、働き方改革への対応も求められているとし、「限られた時間で生産性を高めるには、最新技術や機器の導入、技術力向上が欠かせない。講習会や認定制度を通して技術者育成に取り組んでいく」とあいさつした。



事業計画などを報告した

今年度は、正会員・特別会員の加入促進をはじめ、測量継続教育センターや関係団体と連携した講習会の充実、アドバンスセミナーの開催、測量機器検定事業の推進などを実施する。また、測量専門技術認定講習を継続し、技術者育成と支部活動の充実を図る方針を示した。

報告会後の講演会では、日本測量協会の白井直樹常任参加が「技術力&マネジメント力向上への志向―民間(航測会社)での経験から―」をテーマに講演。技術革新や働き方改革など業界を取り巻く環境変化に対応するため、継続的な技術習得とマネジメント力の向上が重要と説明し、

多角的な視点を持って組織運営に当たることが必要を訴えた。

報告会では、㈱大東エンジニアリング(大城正道代表取締役)の公共測量品質管理優秀賞受賞を紹介した。懇親会では表彰式を開き、受賞をたたえ、ともに、参加者同士が情報交換を通して親睦を深めた。